
土浦市公共サイン デザインマニュアル

2013年 3月

土 浦 市

はじめに

「土浦市公共サインデザインマニュアル」（以下「本マニュアル」という）は、土浦市における公共サイン整備の基本的なルールを示す「土浦市公共サイン整備ガイドライン」（以下「ガイドライン」という）を円滑に運用するための副読本として作成したものである。

本マニュアルは、担当者が整備の現場で活用することを想定しており、土浦市公共サインのシステムやデザイン、整備手順等の基本的な事項について、要点を簡潔にまとめた。また表示面について、ガイドラインに基づいた標準的なレイアウトの方法を示したうえで、実際の整備においてとくに迷いを生じやすい場合を想定し、標準と異なるレイアウトや構造等について、応用展開例として例示した。

目次

サインデザインの特徴.....	2
土浦市公共サインのシステム.....	3
公共サインの整備手順.....	6
要素の表示原則	12
ドライバー系の標準レイアウト	14
歩行者系の標準レイアウト	18
歩車兼用系の標準レイアウト.....	28
応用展開例	33

サインデザインの特徴

- 土浦市公共サインは、土浦らしさの本質を「霞ヶ浦の湖水と水戸街道を中心とする歴史性」ととらえ、次のようなデザイン上の特徴を持っている。

- テーマカラーとして「青藍」を用いる
- 文字に明朝体を用いる
- 全体に色味を抑え、やや重厚で格調の高いイメージとする

■ テーマカラー：青藍



マンセル値 4.5PB 3 / 7

近似色 G75-20L (マンセル値：5PB 2 / 6)

(『塗料用標準色見本 2013年G版』日本塗料工業会)

ポイント ここに示した色はイメージを伝えるためのものであり、実際の色とは異なる。色を指定する場合は、マンセル値が記載された色見本で確認する必要がある。

■ 明朝体

明朝体の表示例 推奨フォント：ヒラギノ明朝 Pro W6

土浦市
土浦市役所

亀城公園
JR 土浦駅
霞ヶ浦総合公園
まちかど蔵・大徳
コミュニティセンター

セリフ書体の表示例 推奨フォント：Minion Pro Bold Italic

Tsuchiura city
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz 0123456789

ポイント 和文の明朝体に対し、英数字はセリフ書体を用いる。

案内図等に用いる文字は、判読性を考慮して角ゴシック体を用いる。

土浦市公共サインのシステム

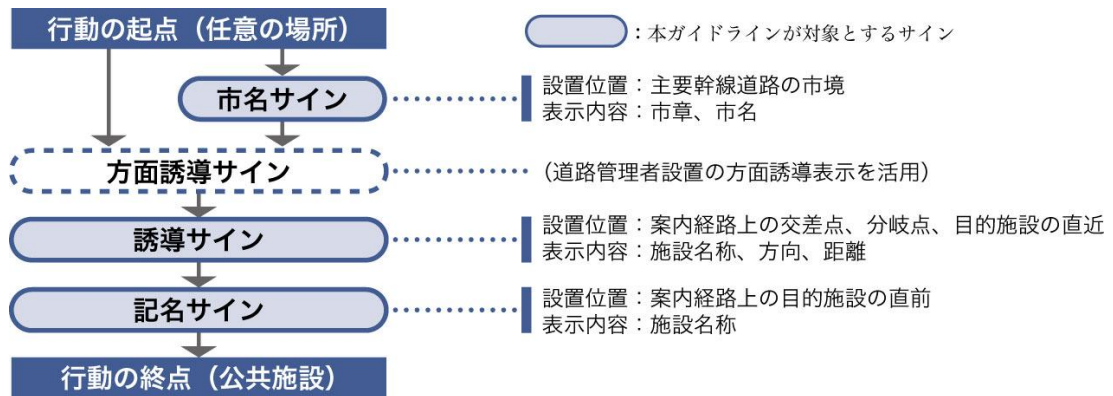
- 土浦市公共サインは、土浦市内を訪れる人々や住民を対象に、市内の主要な公共施設等※を対象に案内・誘導を行うものである。
- 土浦市内の施設分布や道路交通状況等を勘案し、自動車の運転者向けのドライバー系サイン、徒歩移動者向けの歩行者系サイン、ドライバーと歩行者の双方に向けた歩車兼用系サインの3つの系統で整備する。歩車兼用系サインは、ドライバー系サインに比較してコンパクトであるため、設置条件への柔軟な対応や整備コストを抑制することができる。
- 各系統は機能の異なる複数の種別を持ち、案内・誘導の仕組みにしたがって、連続的に配置される。

※ 対象施設については、ガイドライン「土浦市の公共施設等」参照

ドライバー系サイン	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ○土浦市全域の国道、県道、主要地方道等に設置 ○広域的な連続性を考慮した表示内容とする ○利用者の安全を第一に、確実に施設まで誘導できる案内経路を設定する ○道路管理者が設置する案内標識（方面誘導、著名地点表示等）との連携・整合を図る
サイン種別	市名サイン <ul style="list-style-type: none"> ・主要幹線道路の市境に設置 ・市名を表示
	誘導サイン <ul style="list-style-type: none"> ・案内経路上の交差点、分岐点、目的施設の直近に設置 ・対象施設の名称および方向、施設までの概略の距離を表示
	記名サイン <ul style="list-style-type: none"> ・目的施設の入り口の直前に設置 ・対象施設の名称を表示
歩行者系サイン	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ○鉄道駅など公共交通の拠点を中心とする、徒歩で移動可能な一定地域内に設置（整備計画ごとに設定） ○利用者の安全を第一に、確実に施設まで誘導できる適切な案内経路を設定する ○観光や施設の説明など他の計画による既存サインの役割や目的を把握し、必要な整備を行う
サイン種別	総合案内サイン <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の拠点（駅前広場等）に設置 ・土浦市の全市地図および現在地を含む案内図を表示
	地域案内サイン <ul style="list-style-type: none"> ・案内経路上の主要交差点、広場等に設置 ・現在地を含む1km四方程度の地域案内図を表示
	誘導サイン <ul style="list-style-type: none"> ・案内経路上の交差点、分岐点に設置 ・対象施設の名称および方向、施設までの距離、現在地を含む地図を表示
歩車兼用系サイン	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ○土浦市内の一般道に設置 ○ドライバーと歩行者に向けた情報を統合して表示するもので、次のような場合に導入する <ul style="list-style-type: none"> ・ドライバー系サインと歩行者系サインの重複により、景観阻害や情報混乱のおそれがある場合 ・ドライバー系サインの設置に必要な用地や空間が確保できない場合 ○ドライバー系サインに比べ、利用者へのアピール、視認性が弱い ○歩行者系サインに比べて情報量が少ない
サイン種別	誘導サイン <ul style="list-style-type: none"> ・案内経路上の交差点、分岐点、目的施設の直近に設置 ・対象施設の名称および方向、施設までの概略の距離を表示
	記名サイン <ul style="list-style-type: none"> ・目的施設の入り口の直前に設置 ・対象施設の名称を表示

ドライバー系サイン

案内・誘導の仕組み



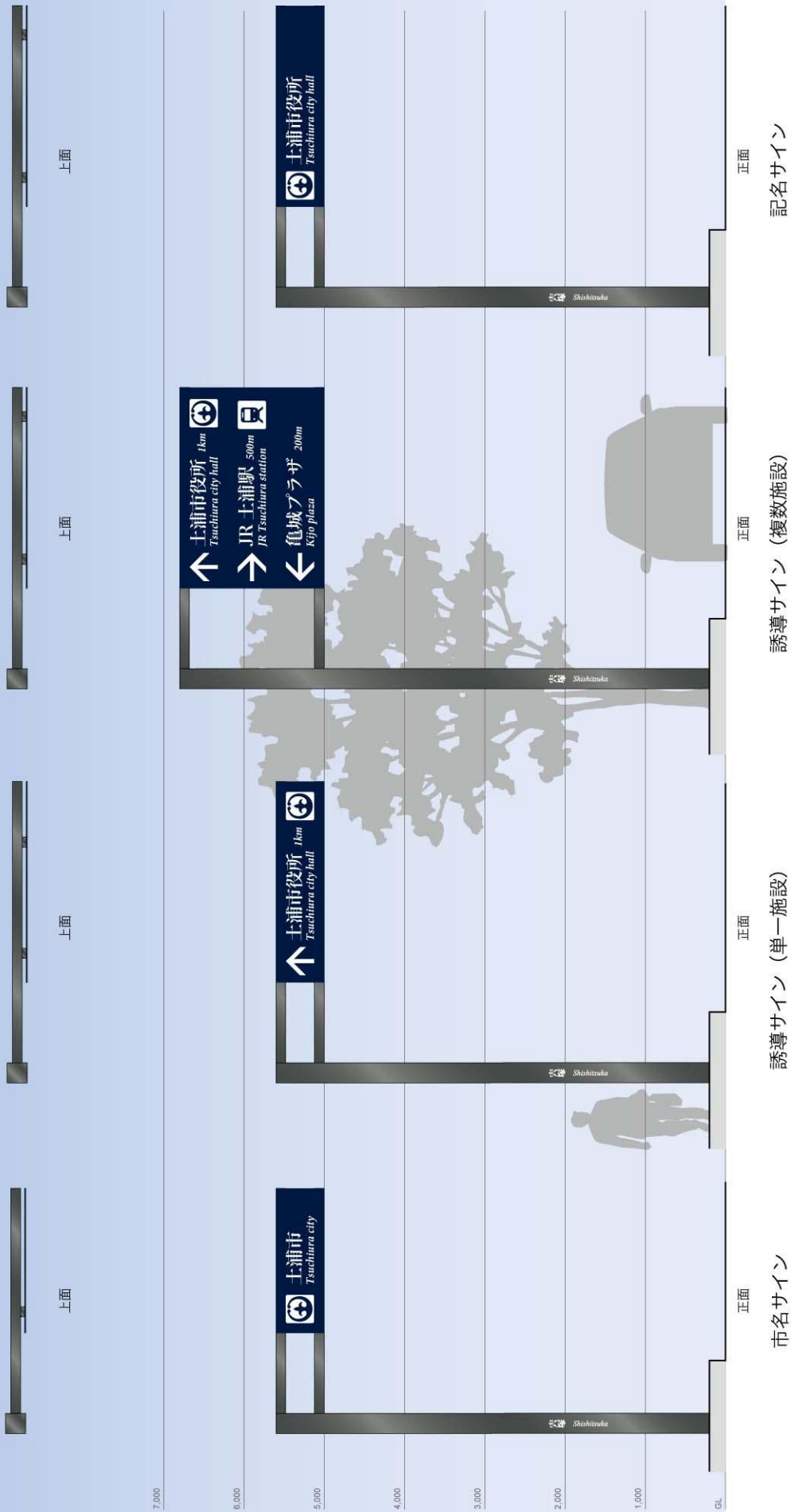
ポイント 方面誘導サインは、道路管理者設置の既存案内板を活用する。
歩車道が分離された道路への設置を基本とし、未分離の道路への設置は歩車兼用サインを活用する。

案内・誘導の概念図



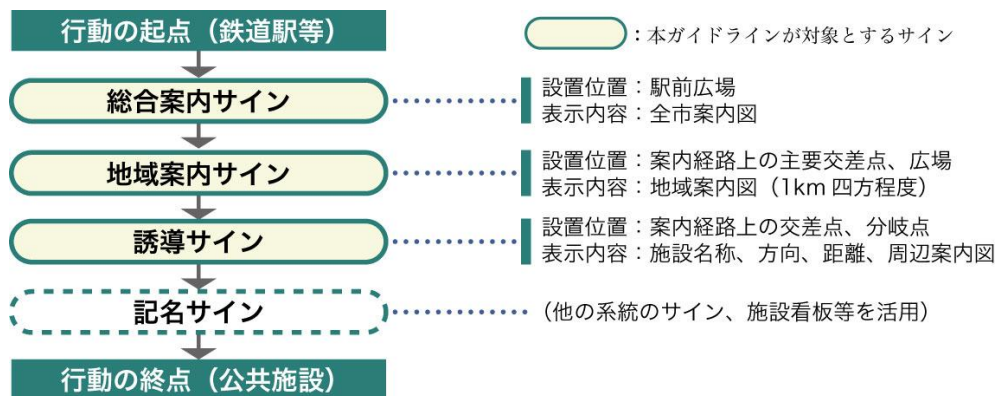
■ ドライバー系サインのデザイン

S=1/75



歩行者系サイン

案内・誘導の仕組み

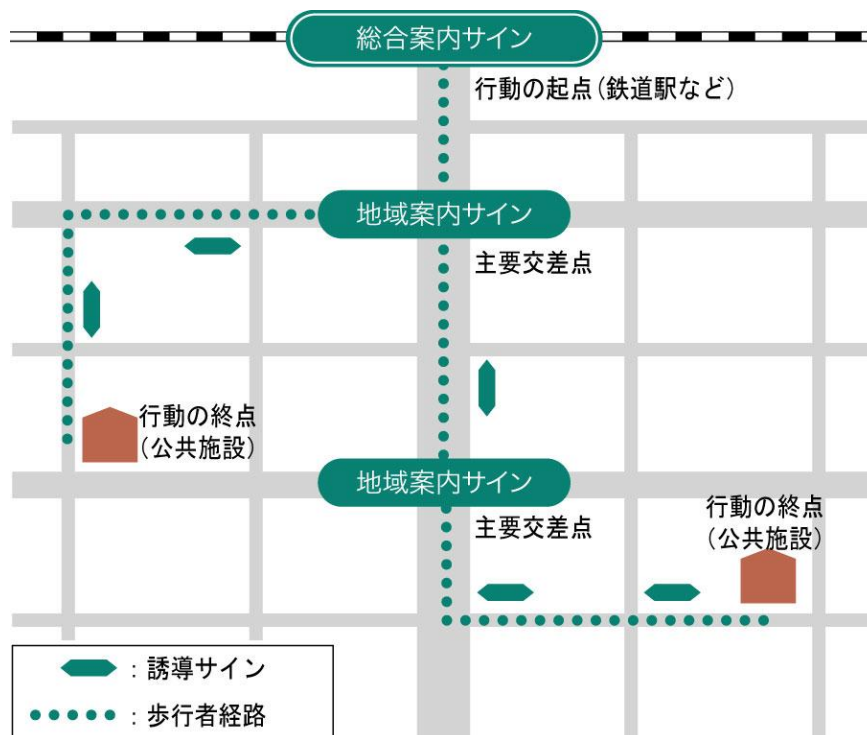


ポイント 鉄道駅など、徒歩による行動の起点を設定する。

行動の起点から対象施設までの経路を設定し、設置基準に基づき連続的に誘導する。

歩行者が立ち止まって利用するため、基本的に歩車道分離のある道路の歩道上や広場等に設置する。

案内・誘導の概念図



■ 歩行者系サインのデザイン

S=1/30



3,000

2,500

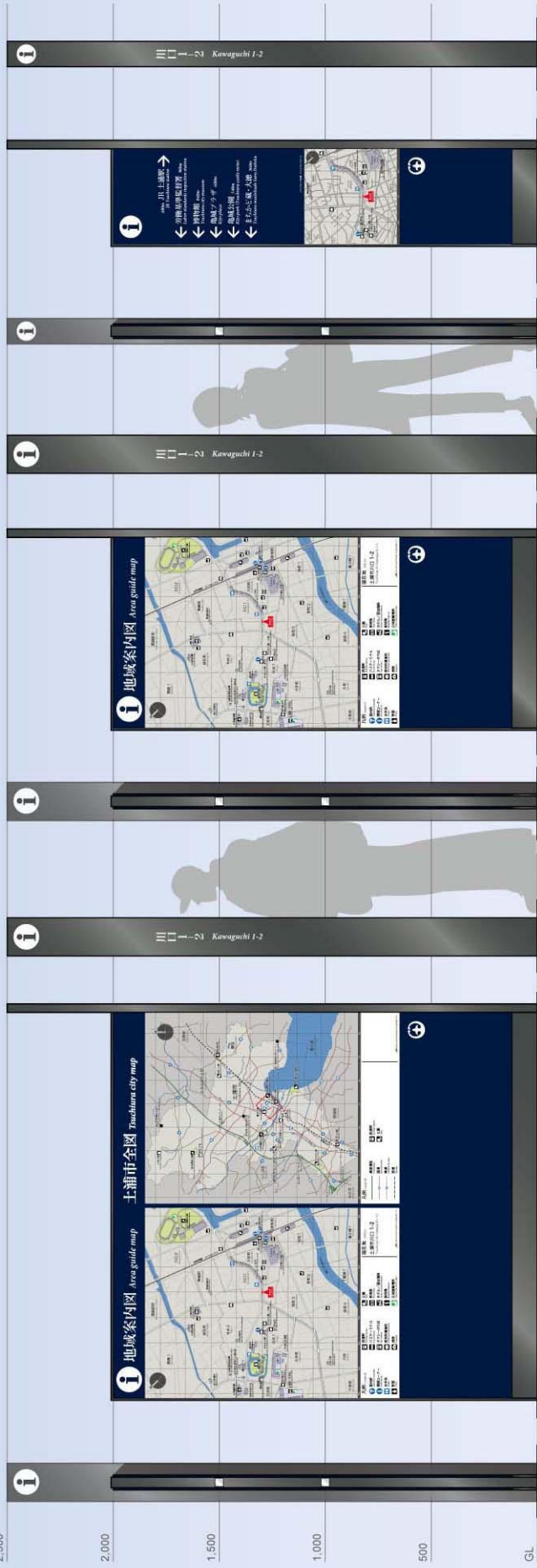
2,000

1,500

1,000

500

GL



側面

正面

総合案内サイン

側面

正面

地域案内サイン

側面

正面

誘導サイン

側面

歩車兼用系サイン

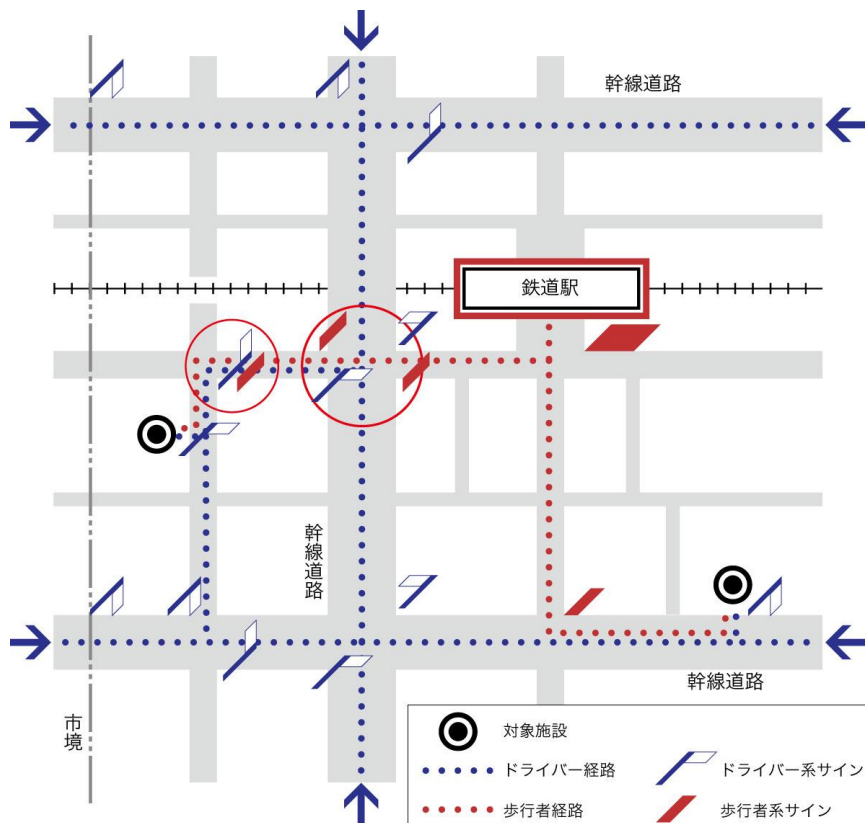
■ 案内・誘導の仕組み

ポイント 配置構造・設置位置・表示内容はドライバー系サインに準ずる。

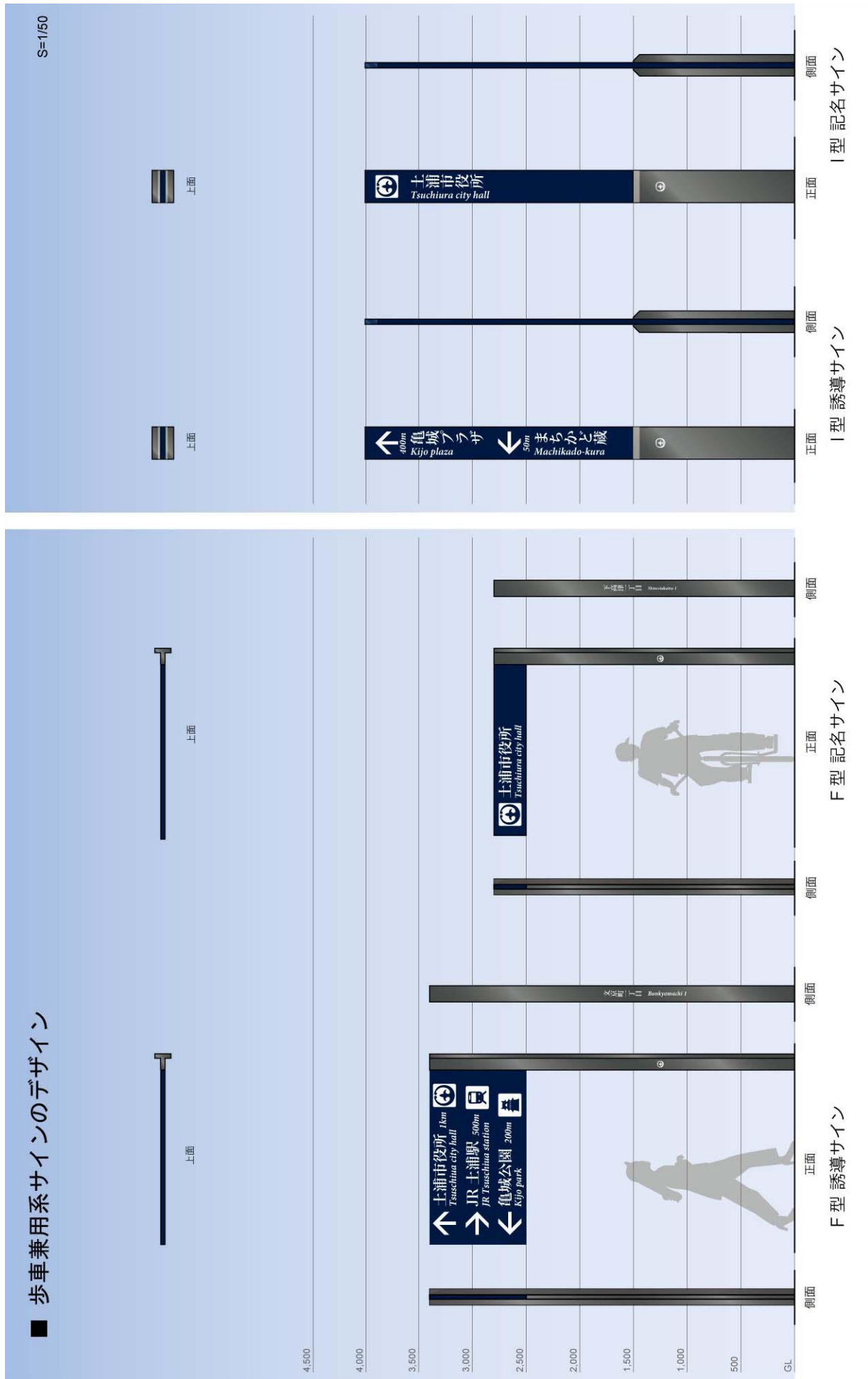
ドライバー系と歩行者系とが併存する場合に、空間の圧迫や景観の阻害を低減するため、ドライバーと歩行者の双方に向けた系統として設定する。

設置基数が抑えられるとともに、通常のドライバー系サインに比べコンパクトな構造であるため、コストを抑えることができる。

■ サイン種別の複合

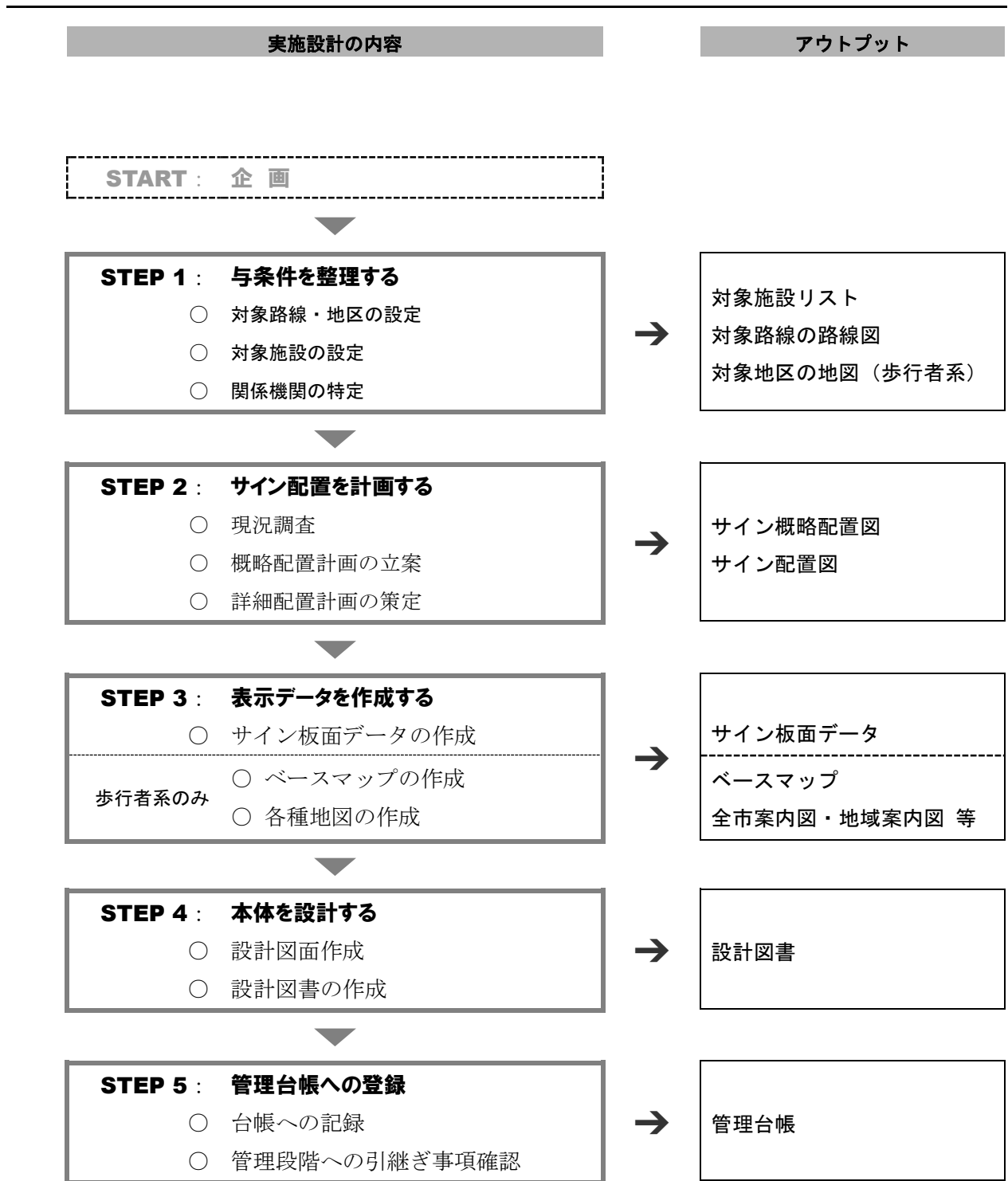


ポイント 上図に赤丸で示す部分は、ドライバー系と歩行者系のサインが重複することから、歩車兼用系サインの導入を検討する箇所を示す。



公共サインの整備手順

整備の流れ		検討・作業内容等	
企画	企画	サイン整備の目的・位置づけの明確化	
	現況調査	都市構造、サイン整備の現況把握	
基本計画	システム構築	基本方針の設定 サイン系統・種別の設定 本体構造、表示内容、配置等の原則設定 管理運用体制の構築	
	⋮		
実施設計	現地調査	対象範囲、対象施設、案内経路、概略配置の設定	STEP 1
	本体・表示検討	本体構造、表示内容、レイアウトの検討	STEP 2
	配置決定	設置位置の詳細設定	STEP 3
	設計図書作成	本体設計、表示面原稿作成	STEP 4
制作・施工	発注・製作	施工監理	
	設置	表示内容の校正（内容・文字・色彩）	
監理	管理登録	サイン管理台帳作成・登録	STEP 5
	メンテナンス	本体・表示内容の日常管理、補修	
	定期連絡会	管理状況の報告・確認、情報共有	
	評価	サインシステムの妥当性評価	



要素の表示原則

■ ピクトグラム

一般施設	 鉄道／鉄道駅 Railway / Railway station	 バス／バスのりば Bus / Bus stop	 タクシー／タクシーのりば Taxi / Taxi stop	 船舶／フェリー／港 Ship / Ferry / Port	 駐車場 Parking	 自転車 Bicycle
	 警察 Police	 郵便 Post	 病院 Hospital	 救護所 First aid	 ホテル／宿泊施設 Hotel / Accommodation	 公園 Park
	 博物館／美術館 Museum	 歴史的建造物 Historical monument	 展望地／景勝地 View point	 陸上競技場 Athletic stadium	 野球場 Baseball stadium	 海水浴場／プール Swimming place
便益施設	 案内所 Question & answer	 お手洗 Toilets	 身障者用設備 Accessible facility	 エレベーター Elevator	 エスカレーター Escalator	 乳幼児用設備 Nursery
安全施設	 広域避難場所 Safe evacuation area	 避難所（建物） Safety evacuation shelter	 津波避難ビル Tsunami evacuation building	 津波避難場所 Tsunami evacuation area		

ポイント ピクトグラムは「JIS Z 8210 案内用図記号」に規定されたものを使用する。

一般施設のピクトグラムは、高明度の地に低明度の図形（ポジ表現）、低明度の地に高明度の図形（ネガ表現）のどちらを用いても良い（上図はネガ表現）。

便益施設のピクトグラムは、基本的に青地に白図に統一する。安全施設のピクトグラムは、統一された色彩を用いる。

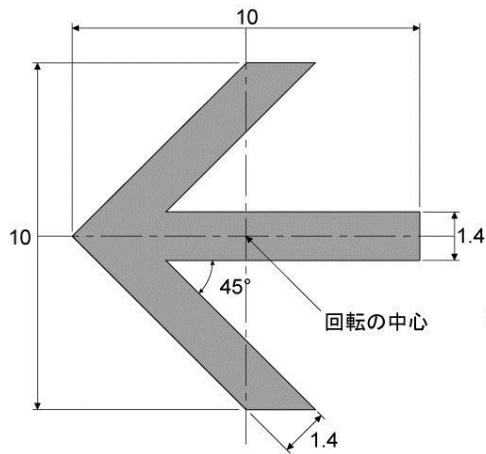
■ シンボルマーク

一般施設	 学校 School	 国道 National road	 県道 Prefectural road	 踏切 Railroad crossing	 信号機 Signal
特定施設	 土浦市役所 Tsuchiura city hall	 小町の館 Komachi-no yakata			

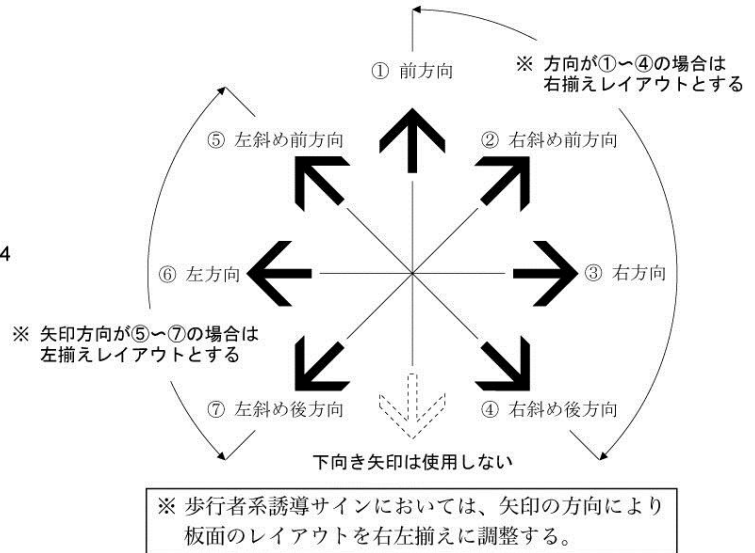
ポイント シンボルマークは、JIS Z 8210 に規定されない事象を地図上に表示するため土浦市公共サインにおいて独自に設定するものである。

■ 矢印

矢印の割付図（数字は比率を表す）



矢印の方向と優先順位（①～⑦）

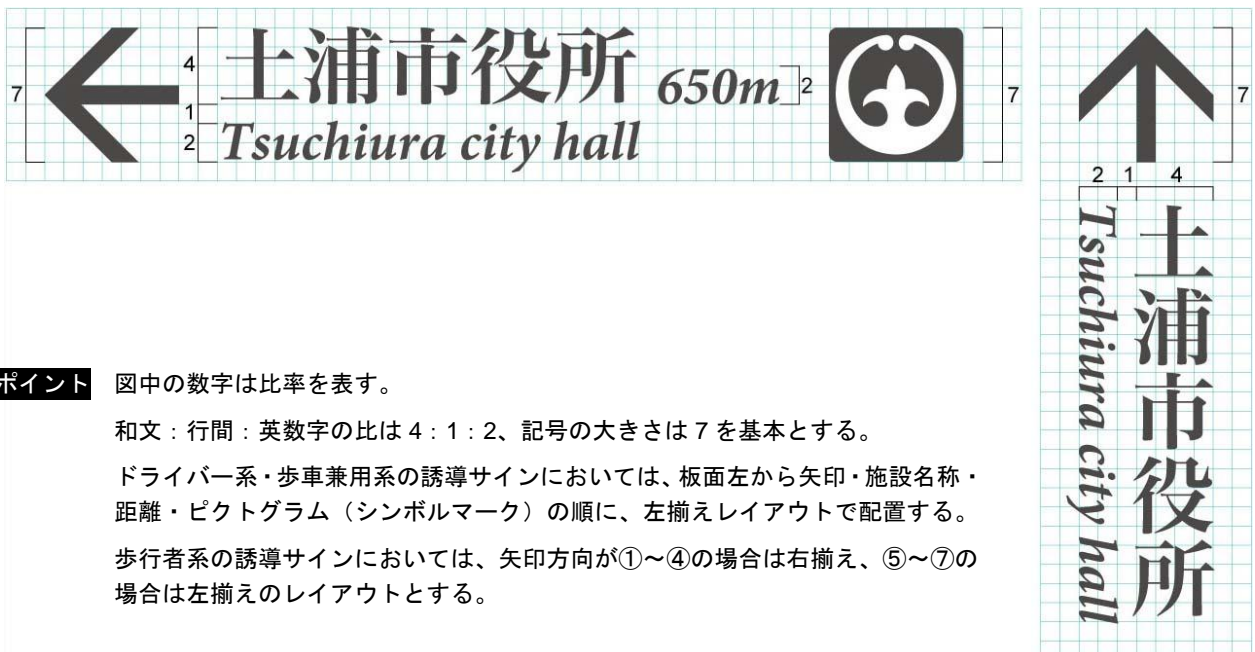


ポイント 矢印は、土浦市公共サインにおいて独自に規定するものである。

歩行者系誘導サインにおいては矢印の指示方向によってレイアウトが異なることに注意する。

下向き矢印を使用しないよう、設置場所におけるサイン板の方向を検討する。

■ 文字と記号の組合せと配置



ポイント 図中の数字は比率を表す。

和文：行間：英数字の比は 4：1：2、記号の大きさは 7 を基本とする。

ドライバー系・歩車兼用系の誘導サインにおいては、板面左から矢印・施設名称・距離・ピクトグラム（シンボルマーク）の順に、左揃えレイアウトで配置する。

歩行者系の誘導サインにおいては、矢印方向が①～④の場合は右揃え、⑤～⑦の場合は左揃えのレイアウトとする。

ドライバー系の標準レイアウト

■ 市名表示

[基準寸法]



[作成例]



ポイント 市名サインは表示内容が単一なので、常に標準レイアウトを採用する。

■ 記名表示

[基準寸法] ピクトグラム・シンボルマークがある場合



[作成例]



[基準寸法] ピクトグラム・シンボルマークがない場合



[作成例]



■ 誘導表示（単一施設）

[基準寸法] ピクトグラム・シンボルマークがある場合



[作成例]



[基準寸法] ピクトグラム・シンボルマークがない場合



[作成例]



ポイント 距離表示は50m単位程度とし、1000mを超える場合はkm表示とする。

■ 誘導表示（複数施設）

【基準寸法】



【作成例】



- ポイント**
- 1枚あたりに表示する施設数は、3施設を限度とする。
 - 1施設あたりの基準寸法は、単一施設の誘導サインに準ずる。
 - 対象施設の指示方向が異なる場合は、矢印方向の優先順位を遵守する。
 - 対象施設の指示方向が同じ場合は、遠い施設を優先して（上に）表示する。

歩行者系の標準レイアウト

■ 全市案内表示

[作成例]

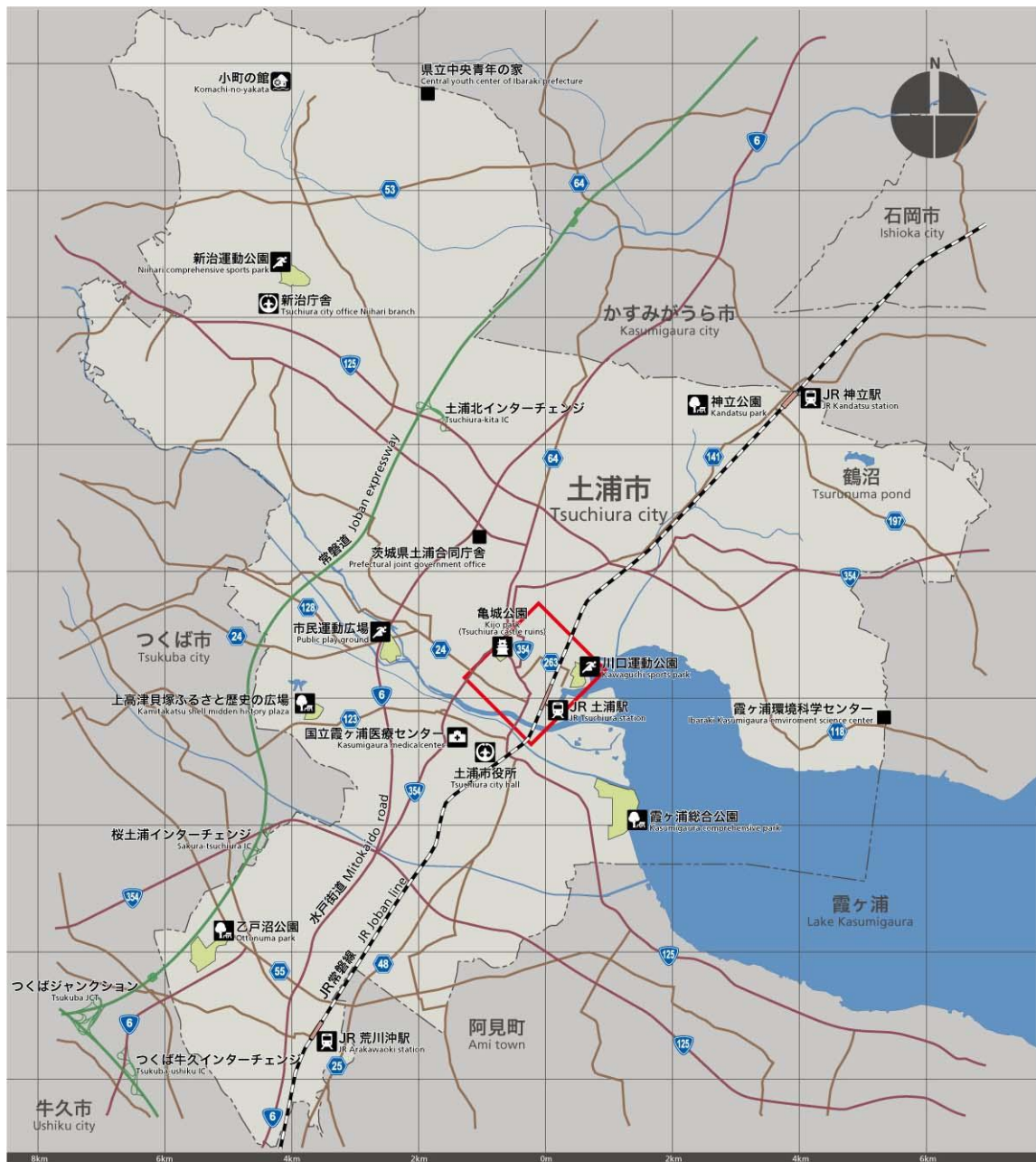


ポイント 全市案内は地域案内と統合し「総合案内サイン」として設置することを基本とするが、単体で設置する場合の裏面は、上図の表示とする。

凡例下部の幕板部分には、イベント時等にマグネットシートを貼付して装飾することを想定している。

■ 全市案内図

[作成例]



[色彩等の基準]

種別	名称	表示例	色彩・線の設定
境界線	市境		線：0 / 0 / 0 / 85 幅：1.0mm 二点鎖線
地勢・地盤等	市域		面：16.5 / 12.5 / 17 / 0 線なし
	市域外		面：25 / 20 / 20 / 0 線なし
	水面（湖・河川等）		面：65 / 35 / 10 / 0 線なし
道路等	国道		線：50 / 80 / 60 / 0 幅：2.0mm
	県道・主要地方道		線：50 / 60 / 70 / 0 幅：2.0mm
	自動車専用道路		面：68 / 19 / 75 / 0 幅：1.0mm 線：80 / 50 / 90 / 15 幅：0.25mm
	鉄軌道		白線：0 / 0 / 0 / 0 幅：2.0mm 黒線：0 / 0 / 0 / 100 幅：3.0mm
施設類	建物（鉄道駅等）		面：20 / 45 / 40 / 0 線：0 / 0 / 0 / 100 幅：0.2mm
	公園・緑地		面：22 / 5 / 50 / 0 線：0 / 0 / 0 / 85 幅：0.5mm
記号	一般施設ピクトグラム		地：0 / 0 / 0 / 100 図：0 / 0 / 0 / 0
	公共施設位置目印		面：0 / 0 / 0 / 100
	国道・県道番号		地：100 / 60 / 0 / 0 図：0 / 0 / 0 / 0
文字	施設名称	JR 土浦駅 JR Tsuchiura station	0 / 0 / 0 / 100
	市町村名	土浦市 Tsuchiura city	0 / 0 / 0 / 85
その他	地域案内図表示範囲		線：0 / 100 / 100 / 0 幅：3.0mm
	スケールグリッド		線：0 / 0 / 0 / 85 幅：0.3mm
	スケールバー		地：0 / 0 / 0 / 85 図：0 / 0 / 0 / 0
	方位		地：0 / 0 / 0 / 85 図：0 / 0 / 0 / 0

表内の数値「X / X / X / X」は、プロセスカラーにおける CMYK の値を示す。

■ 地域案内表示

[作成例]



ポイント 地域案内サインを単体で設置する場合の裏面は、上図の表示とする。

凡例下部の幕板部分には、イベント時等にマグネットシートを貼付して装飾することを想定している。

■ 地域案内図

[作成例]



[色彩等の基準]

種別	名称	表示例	色彩・線の設定
境界線	市境		線：0 / 0 / 0 / 85 幅：1.0mm 二点鎖線
	町境		線：0 / 0 / 0 / 85 幅：1.0mm 一点鎖線
	町目境		線：0 / 0 / 0 / 85 幅：1.0mm 点線
地勢・地盤等	水面（湖・河川・池・水路等）		面：65 / 35 / 10 / 0 線なし
	街区		面：16.5 / 12.5 / 17 / 0 線なし
道路等	国道・県道・市道・私道		面：35 / 28 / 28 / 0 線なし
	自動車専用道路		面：68 / 19 / 75 / 0 線：80 / 50 / 90 / 15 幅：0.5mm
	ペDESTリアンデッキ・歩道橋		線：0 / 0 / 0 / 85 幅：1.0mm 面なし
	橋・陸橋		線：0 / 0 / 0 / 85 幅：1.0mm 面なし
	アンダーパス		線：0 / 0 / 0 / 85 点線 幅：0.5mm 面なし
	信号機		面：100 / 60 / 0 / 0 線なし H 5.0mm W 15.0mm
	鉄軌道		線：0 / 0 / 0 / 85 幅：3.0mm
施設類	建物		面：20 / 20 / 0 / 25 線：0 / 0 / 0 / 85 幅：0.5mm
	建物影		面：0 / 0 / 0 / 65 線なし
	施設敷地		面：15 / 15 / 0 / 0 線：0 / 0 / 0 / 85 幅：0.5mm
	公園・緑地		面：22 / 5 / 50 / 0 線：0 / 0 / 0 / 85 幅：0.5mm
記号	一般施設ピクトグラム		地：0 / 0 / 0 / 100 図：0 / 0 / 0 / 0
	便益施設ピクトグラム		地：100 / 60 / 0 / 0 図：0 / 0 / 0 / 0
	避難場所ピクトグラム		地：81 / 0 / 100 / 0 図：0 / 0 / 0 / 0
	公共施設位置目印		面：0 / 0 / 0 / 100
	国道・県道番号		地：100 / 60 / 0 / 0 図：0 / 0 / 0 / 0
文字	施設名称	JR 土浦駅 JR Tsuchiura station	0 / 0 / 0 / 100
	町丁名	大和町 Yamatomachi	0 / 0 / 0 / 85
	番地	(2)	0 / 0 / 0 / 85
その他	現在地		地：0 / 100 / 100 / 0 図：0 / 0 / 0 / 0
	スケールグリッド		線：0 / 0 / 0 / 85 幅：0.3mm
	スケールバー		地：0 / 0 / 0 / 100 図：0 / 0 / 0 / 85
	方位		地：0 / 0 / 0 / 85 図：0 / 0 / 0 / 0
	施設名称引出し線		線：0 / 0 / 0 / 100 幅：0.3mm

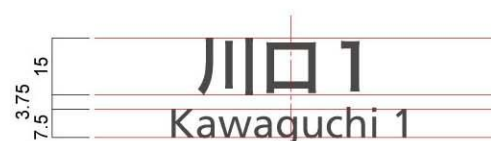
表内の数値「X / X / X / X」は、プロセスカラーにおける CMYK の値を示す。

■ 地図上の文字・記号

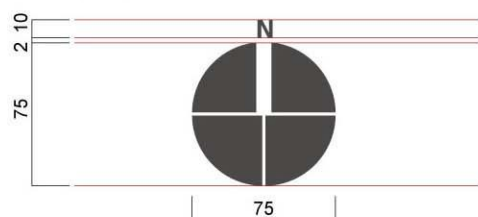
施設名称（文字・記号色：0/0/0/100）



市町・ランドマーク名称（文字色：0/0/0/85）



方位（0/0/0/85）



現在地（0/100/100/0）



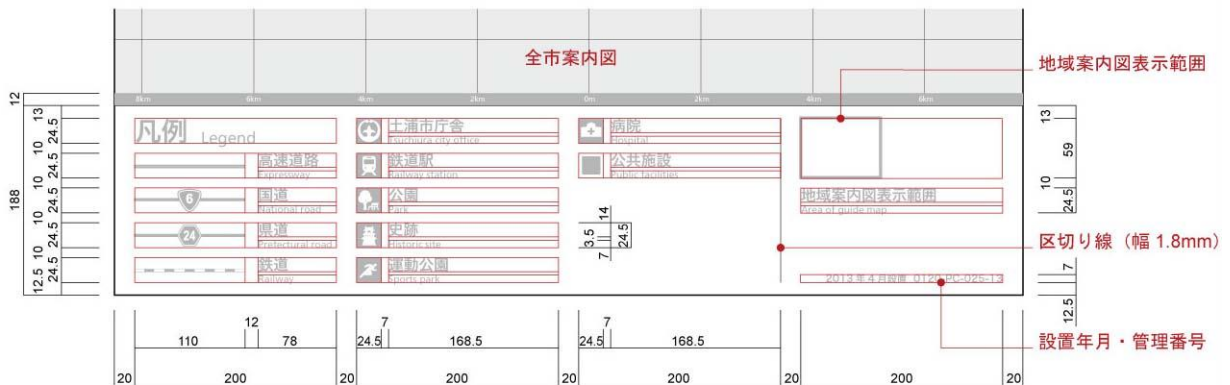
ポイント 地図および凡例の文字は、和文は角ゴシック体（推奨フォント：ヒラギノ角ゴ Pro W6）、英数字はサンセリフ書体（推奨フォント：Frutiger 55 Roman）を用いる。

各要素は、地図の情報を遮蔽しすぎないことや、周囲の要素の配置関係を考慮してレイアウトを工夫する。施設名称等は、ピクトグラムや位置目印を地図上の施設位置に配置する。

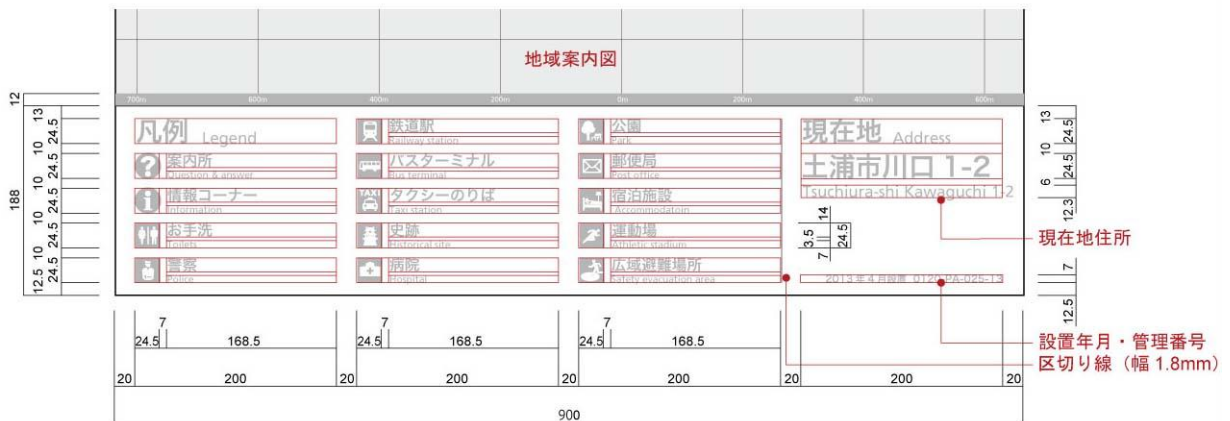
地域案内図の方位は、実際の方位に応じて回転させ、地図の四隅に近い位置にならない位置に配置する。

■ 凡例表示

[全市案内表示の凡例]



[地域案内表示の凡例]



ポイント 凡例の表示項目は、それぞれの案内図に対応した内容とする。

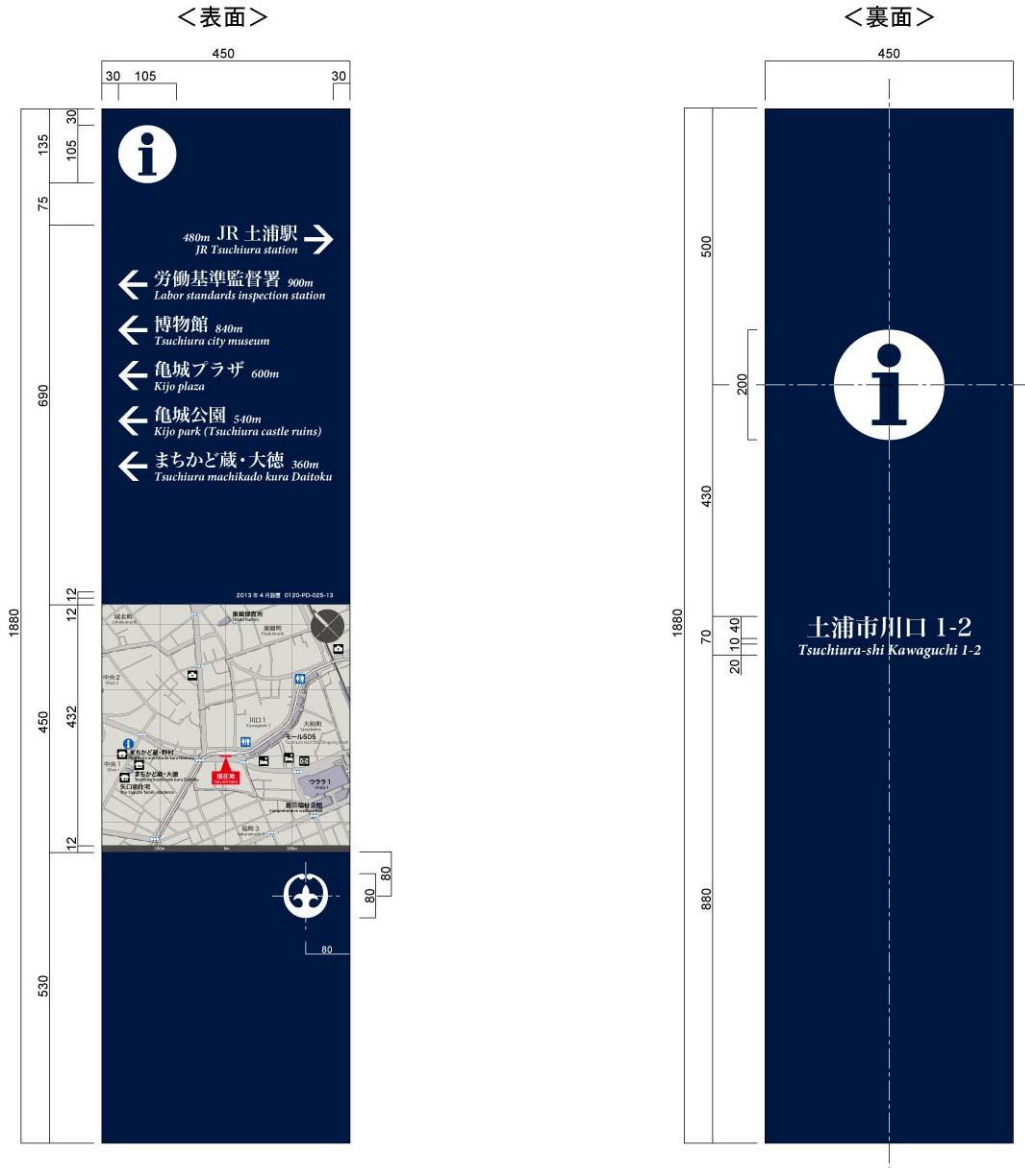
表示スペースが不足する場合は、優先して表示すべき事項を検討し、一部を省略することができる。

地域案内と統合して「総合案内サイン」として設置する場合、全市案内表示の凡例には、地域案内図の表示範囲を明示する。

全市案内表示の凡例は、市内の観光資源や見どころを表示することも考えられる。

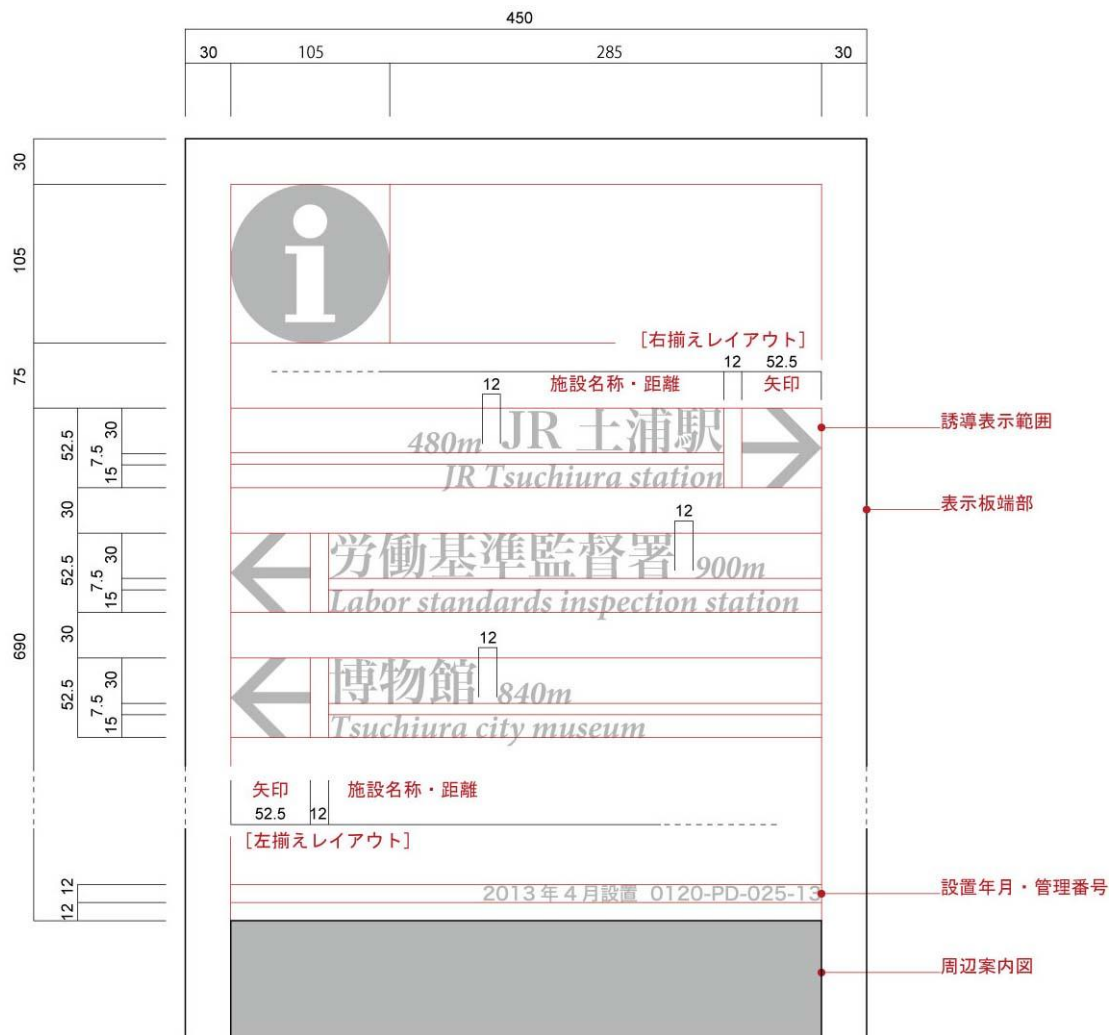
■ 誘導表示

[作成例]



ポイント 凡例下部の幕板部分には、イベント時等にマグネットシートを貼付して装飾することを想定している。

【誘導表示の基準寸法】



- ポイント** 対象施設の指示方向が異なる場合は、矢印方向の優先順位および右／左揃えのレイアウトを遵守する。
 対象施設の指示方向が同じ場合は、遠い施設を優先して（上に）表示する。
 歩行者系誘導サインは、ピクトグラム・シンボルマークを使用しない。

歩車兼用系の標準レイアウト

■ F型 誘導表示（単一施設）

[基準寸法] ピクトグラム・シンボルマークがある場合



[作成例]



[基準寸法] ピクトグラム・シンボルマークがない場合

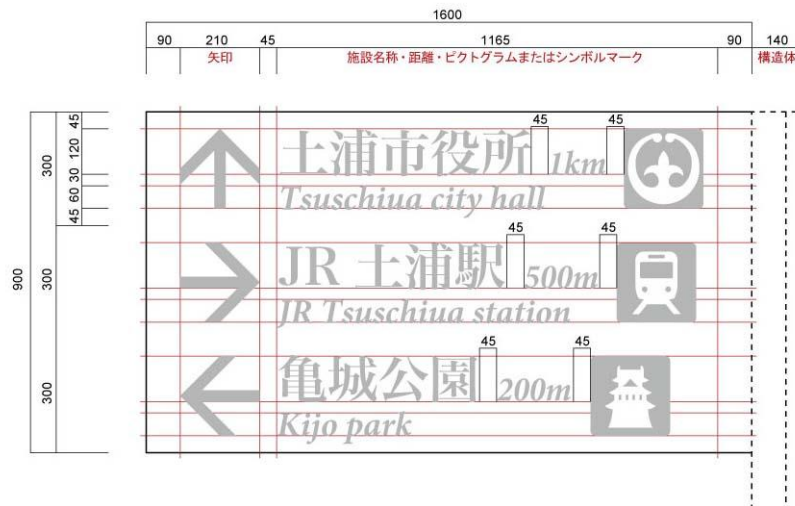


[作成例]



■ F 型 誘導表示（複数施設）

[基準寸法]



[作成例]



ポイント 1枚あたりに表示する施設数は、3施設を限度とする。

1施設あたりの基準寸法は、単一施設の誘導サインに準ずる。

対象施設の指示方向が異なる場合は、矢印方向の優先順位を遵守する。

対象施設の指示方向が同じ場合は、遠い施設を優先して（上に）表示する。

亀城公園のピクトグラムは、施設の性質を考慮して「JIS Z 8210 案内用図記号 歴史的建造物 2」とする。

■ F型 記名表示

[基準寸法] ピクトグラム・シンボルマークがある場合



[作成例]



[基準寸法] ピクトグラム・シンボルマークがない場合



[作成例]



■ I型誘導表示

単一施設

複数施設

[基準寸法]

[作成例]

[基準寸法]

[作成例]



ポイント 歩車兼用系I型の誘導表示においては、ピクトグラムやシンボルマークを省略できる。

1枚あたりに表示する施設数は2施設を限度とし、またできるだけ同一方向の施設として矢印を省略することが望ましい。

1施設あたりの基準寸法は、単一施設の誘導サインに準ずる。

■ I型記名表示

ピクトグラム・シンボルマークがある場合

ピクトグラム・シンボルマークがない場合

[基準寸法]

[作成例]

[基準寸法]

[作成例]



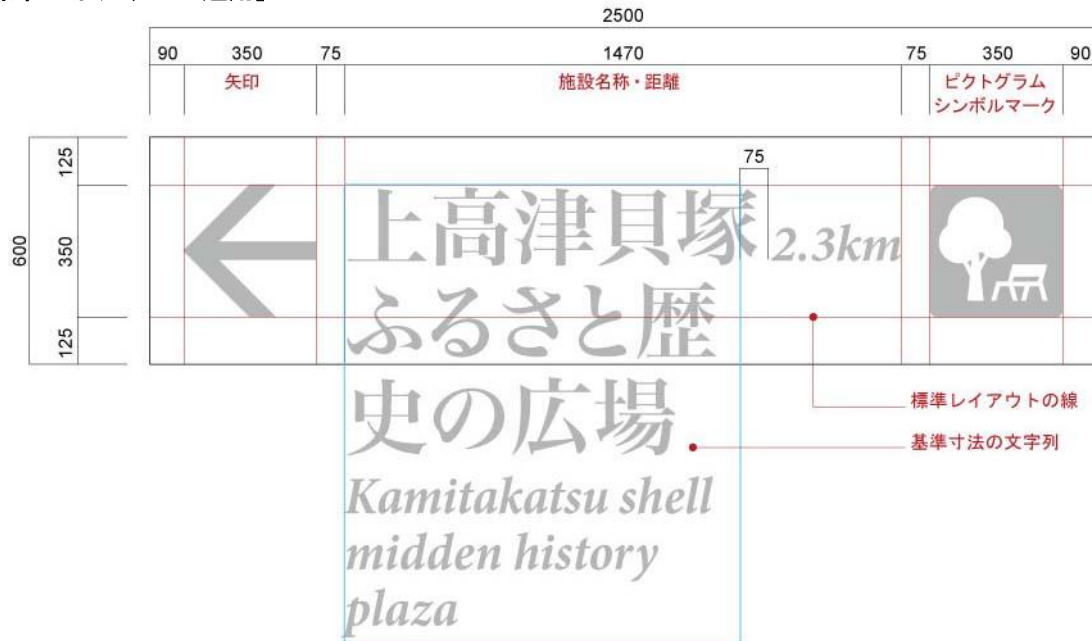
ポイント ピクトグラム・シンボルマーク等がある場合とない場合とでは、レイアウトが異なることに注意する。

応用展開例

文字数の多い施設名称をレイアウトする

■ ドライバー系サイン

[標準レイアウトの適用]



[レイアウトの展開]



ポイント 文字数の多い施設名称を表示するため、以下の点で基準寸法・標準レイアウトを変更した。

- 読みやすさを考慮しながら改行した。ただし2行を限度とする。
- 字間詰め（カーニング）を調整した。とくにひらがなは字間を詰めても比較的判読しやすい。
- 文字に長体（文字幅の縮小）をかけた。ただし読みやすさを考慮して、90%程度を限度とする。
- 距離表示の位置をピクトグラム下部に変更した。
- 標準レイアウトの上下余白を踏襲し、表示板の上下幅を拡大した。そうした場合は、拡大分が道路の建築限界を侵さぬよう、表示板下端の高さを本体側で調整する必要がある。

■ 作成例

[ドライバー系誘導表示]



〔ドライバー系記名表示〕

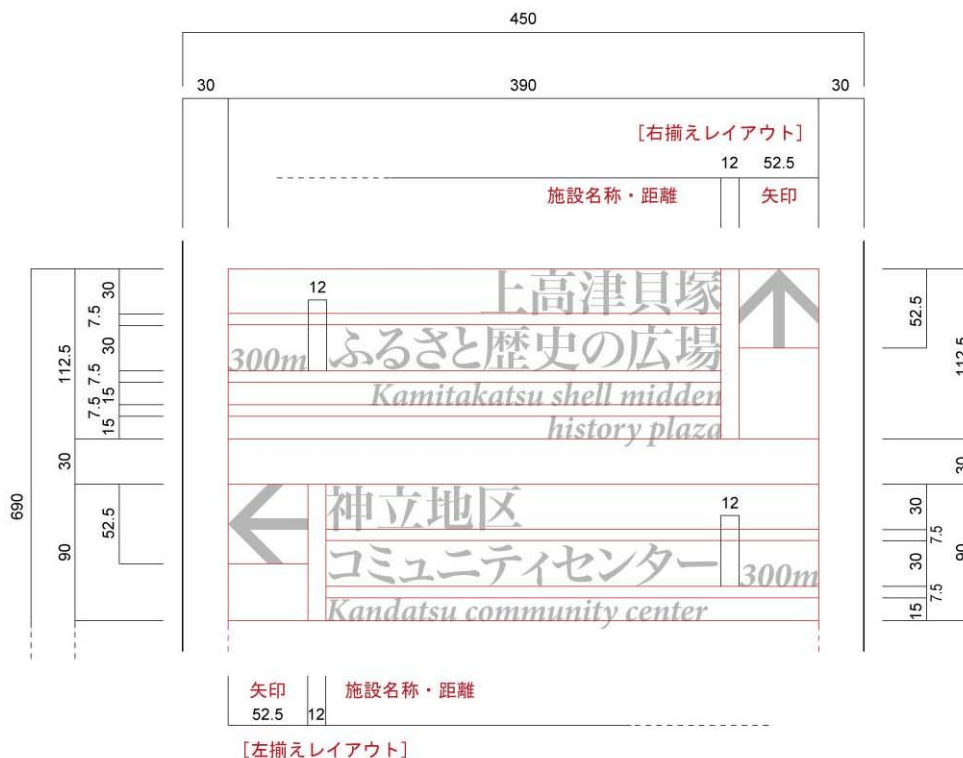


ポイント ドライバー系記名表示は矢印・距離表示がないため、文字詰めや文字幅縮小をできるだけ避ける。

「霞ヶ浦総合公園」の記名表示は、誘導サインと異なり矢印・距離表示が不要であるため、基準寸法での表示可能となる。

■ 歩行者系サイン

[レイアウトの展開]



[作成例]



ポイント 歩行者系誘導表示はピクトグラムを用いないため、文字詰めや文字幅縮小をできるだけ避ける。改行のために増加した1施設あたりの高さ寸法は、周辺案内図との間のスペースに自然に流す。

■ 歩車兼用系サイン F 型

【レイアウトの展開】



【作成例】



ポイント 読みやすさを考慮しながら改行した。ただし2行を限度とする。

文字数の多い2行目の字間詰めを調整した。カタカナは字間を詰めても比較的判読しやすい。

標準レイアウトの上下余白を踏襲し、表示板の上下幅を拡大した。そうした場合は、拡大分が道路の建築限界を侵さぬよう、表示板下端の高さを本体側で調整する必要がある。

【レイアウトの展開】

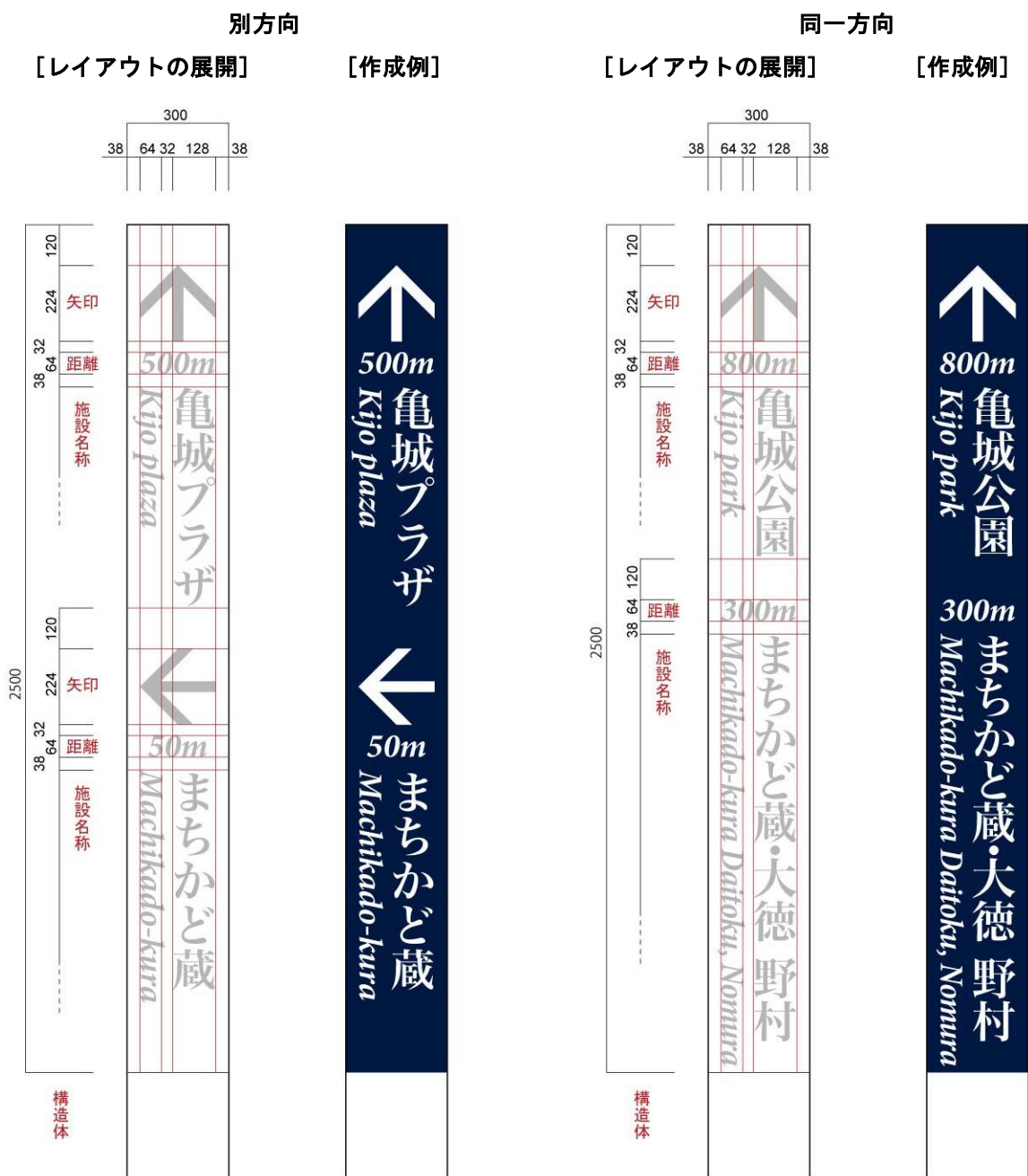


【作成例】



ポイント 字数が比較的少なく、改行すると却って余白が大きくなるため、「・」（中黒）の字間を最大限に詰め、ピクトグラムを省略した。

■ 歩車兼用系サイン I 型



ポイント 別方向の例では、スペース不足のため「まちかど蔵・大徳」の施設名称を一部省略した。省略にあたっては、利用者が理解できることを十分に検討し、所管部署の了解をとる必要がある。

同一方向の例では、矢印が1つですむため、2つの名称をまとめて表示した。2つの「まちかど蔵」は、ほぼ同じ場所にある類似の施設であるため、一方だけを表示するよりも利用者にとってわかりやすい。なお英名表記の字数が多くなったため、推奨書体のコンデンスド書体 (Minion Pro Cond Italic) を使用した。

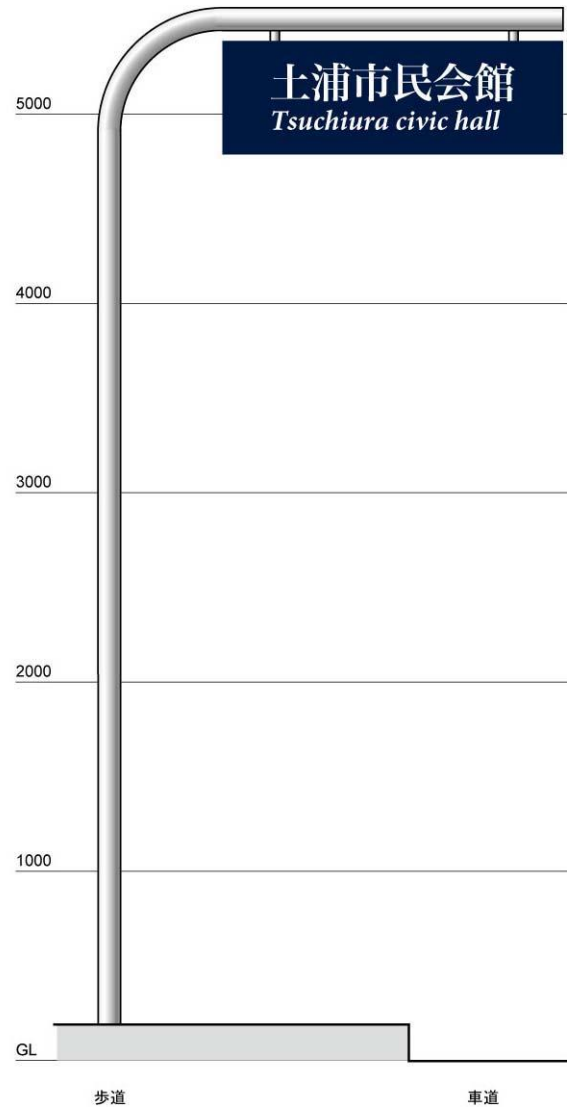
既存サインの構造体を活用する

■ ドライバー系記名サインの例

[現状]



[作成例]



[板面レイアウト]



注：現状の構造体、板面の寸法は推定である。

ポイント 現状サインは方向指示があるが、市民会館の直前に設置されているため、記名表示とした。

支持構造を変更しないため、板面の寸法は既存板面と同等とした。

板面の色彩、文字の書体および寸法と配置バランスは、標準型を踏襲し、土浦市のサインデザインの特徴を活かした。

構造体の色彩をダークグレーとすることが望ましい。

■ ドライバー系誘導サインの例 ①

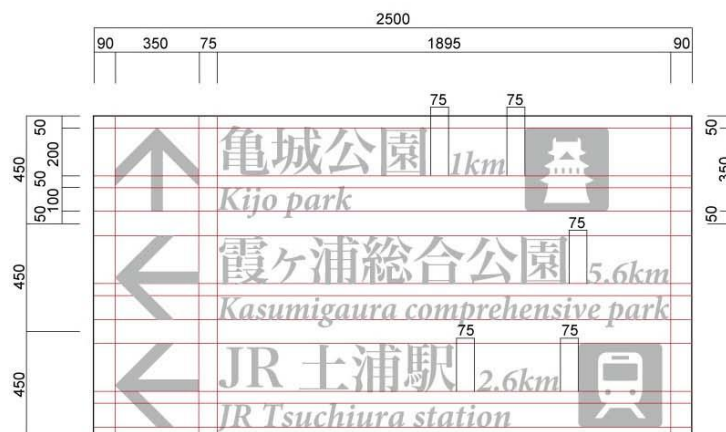
[現状]



[作成例]



[板面レイアウト]



注：現状の構造体、板面の寸法は推定である。

ポイント 板面を基準寸法とし、色彩、文字の書体、寸法と配置バランスは標準型を踏襲した結果、現状よりも短い板面となった。

板面寸法の制限から霞ヶ浦総合公園の英名表記を改行できないため、ピクトグラムを省略した。

構造体の色彩をダークグレーとすることが望ましい。

■ ドライバー系誘導サインの例 ②

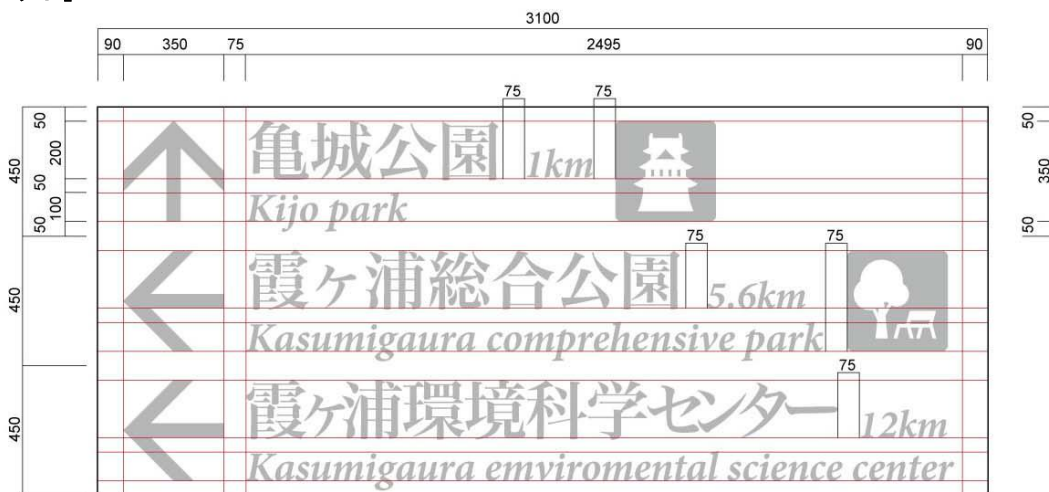
【現状】



【作成例】



【板面レイアウト】



注：現状の構造体、板面の寸法は推定である。

ポイント 施設の優先度を勘案し、現状に共架された「霞ヶ浦環境科学センター」の誘導看板との統合を図った。板面の幅を現行と同等としたため、霞ヶ浦総合公園のピクトグラムを表示することができた。構造体の色彩をダークグレーとすることが望ましい。

構造体を簡略化する

標準型の構造体を変更する際の要件

- テーマカラー、明朝体を使用する
- 和文・英文・記号の大きさの比率および配置は、標準レイアウトを遵守する
- 文字の大きさは、視距離＝文字高さ×200 を標準とし、目的や条件を勘案して設定する
- 表示の高さは、各サイン種別の標準型を基本とし、目的や条件を勘案して設定する

歩車兼用系誘導サインの例

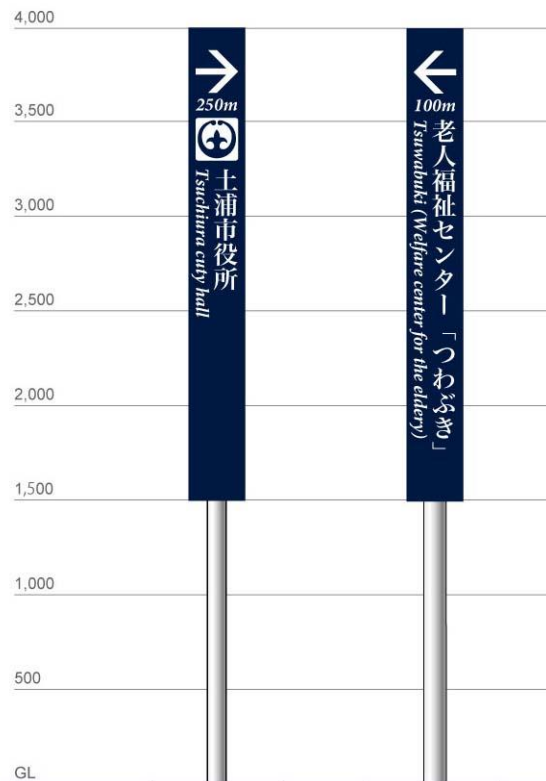
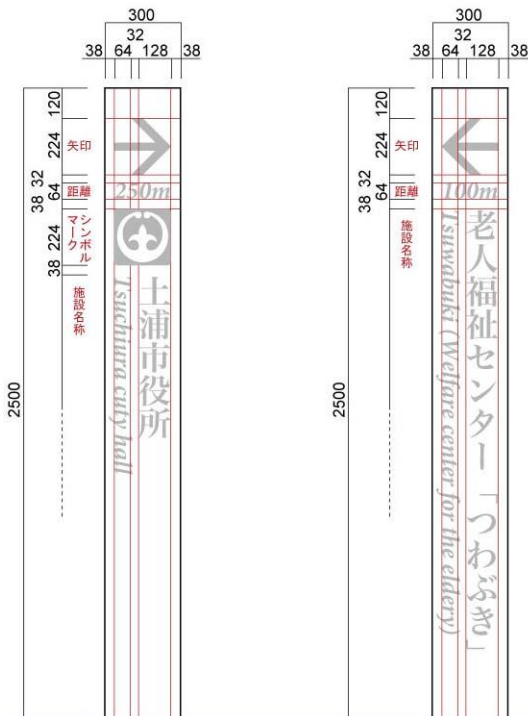
[現状]



[作成例]



[板面レイアウト]



ポイント 板面寸法、表示内容は標準レイアウトを踏襲し、表示高さは標準型と同等とした。
 シンボルマーク等は省略できるが、土浦市役所の例では視認性を考慮して配置した。
 構造は円柱とし、コスト抑制を図った。

既存構造物を利用して設置する

■ 歩行者系地域案内サイン・誘導サインの例

[作成例]

壁面への取付け

柱等への取付け



ポイント 歩行者系サインの表示高さはユニバーサルデザインに配慮されているため、標準型の表示高さ（最後部高さが2000mm）を遵守した。

誘導サインは幅が比較的に狭いため、曲面に貼付しても一定の視認性が確保されるが、案内サインは巾が広く一覧性が要求されるため、壁面など平坦な面への取付けが望ましい。

既存構造物の利用に際しても、ガイドラインの設置基準を順守する。とくに植栽帯や段差などの障害物により、表示板に十分近づけない場合が想定される。表示板の取付け位置は、利用空間を十分に確保する必要がある。

土浦市公共サインデザインマニュアル

発 行 者 土浦市 都市整備部 都市計画課
〒300-8686 茨城県土浦市下高津 1-20-35
電話 029-826-1111（内線 2361）
発 行 年 月 2013 年 3 月
編 集 ・ 印 刷 株式会社 創 建